

2026年1月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年3月17日

上場会社名 株式会社ミサワ 上場取引所 東  
 コード番号 3169 URL <https://www.misawa-corp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三澤 太  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鈴木 裕之 (TEL) 03-5793-5500  
 定時株主総会開催予定日 2026年4月23日 配当支払開始予定日 2026年4月24日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年4月24日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年1月期の業績(2025年2月1日~2026年1月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年1月期	12,159	△3.8	235	△27.6	253	△21.7	124	△33.4
2025年1月期	12,637	4.6	325	401.0	323	560.7	187	1,427.2

  

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年1月期	17.65	—	3.9	4.8	1.9
2025年1月期	26.50	—	6.0	6.3	2.6

(参考) 持分法投資損益 2026年1月期 ー百万円 2025年1月期 ー百万円

経営成績に関する注記

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年1月期	5,517	3,240	58.7	458.94
2025年1月期	5,082	3,171	62.4	449.16

(参考) 自己資本 2026年1月期 3,240百万円 2025年1月期 3,171百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年1月期	631	△534	158	1,358
2025年1月期	357	△254	△117	1,103

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年1月期	—	0.00	—	8.00	8.00	56	30.2	1.8
2026年1月期	—	0.00	—	8.00	8.00	56	45.3	1.7
2027年1月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00		32.8	

3. 2027年1月期の業績予想（2026年2月1日～2027年1月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,251	9.2	75	—	80	—	53	—	7.61
通期	12,752	4.9	246	4.7	257	1.6	172	38.0	24.35

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年1月期	7,112,400 株	2025年1月期	7,112,400 株
② 期末自己株式数	2026年1月期	50,936 株	2025年1月期	50,635 株
③ 期中平均株式数	2026年1月期	7,072,113 株	2025年1月期	7,068,589 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(損益計算書関係) .....	10
(収益認識関係) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
(持分法損益等) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復傾向が見られました。しかしながら、国際情勢の不安定化や米国の通商政策の動向、さらには物価上昇への懸念などもあり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

インテリア・家具業界におきましては、倉庫・店舗・オフィス等の賃料コストや、配送コストの上昇及び人材不足による人件費の増加等により、依然として厳しい競争環境が続いております。

こうした環境の中で当社は、基本施策としてインナーブランディングの浸透から「らしさ」をより打ち出し、競合との差別化に注力しました。また、DXの継続や多能工化による本部のスリム化を進め、販管費の増加の抑制に努めました。商品施策としましては、家具においては売れ筋シリーズの拡張を進めたほか、新たにシンプルに天然木の風合いを生かしたエクステンションテーブル、ALKU（アルク）シリーズや、ルーバーがデザインアクセントのDWELI（ドゥウェリ）シリーズを発売しました。また、ラグマット、カーテン、寝具などのファブリック商材を充実させ、雑貨においても、フラワーベース、かご、照明等を新たに自社開発しました。

以上の販売戦略を行いました。しかし、厳しい市場環境により、売上高12,159,248千円（前年同期比3.8%減）、営業利益235,723千円（前年同期比27.6%減）、経常利益253,104千円（前年同期比21.7%減）、当期純利益124,830千円（前年同期比33.4%減）となりました。

なお、第1四半期会計期間より、「unico事業」の単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産の部)

当事業年度末における総資産の残高は、前事業年度末に比較して434,917千円増加し、5,517,193千円となりました。

流動資産の残高は、前事業年度末に比較して117,349千円増加して、3,743,110千円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加255,028千円、売掛金の増加122,216千円等がありましたが、商品の減少132,298千円の減少があったことによるものであります。

また、固定資産の残高は、前事業年度末に比較して317,568千円増加して、1,774,082千円となりました。主な要因は、無形固定資産の増加312,851千円、有形固定資産の増加13,434千円等がありましたが、敷金及び保証金の減少47,204千円等があったことによるものであります。

### (負債の部)

当事業年度末における負債の残高は、前事業年度末に比較して365,983千円増加し、2,276,377千円となりました。

主な要因は、長期借入金(1年以内に返済予定のもの含む)の増加247,075千円、契約負債の増加138,802千円等がありましたが、買掛金の減少100,791千円等があったことによるものであります。

### (純資産の部)

当事業年度末における純資産の残高は、前事業年度末に比較して68,934千円増加し、3,240,816千円となりました。主な要因は、当期純利益の計上による利益剰余金の増加124,830千円がありましたが、剰余金の配当による利益剰余金の減少56,494千円等があったことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ255,028千円増加し、1,358,685千円となりました。なお、当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりです。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動の結果、631,152千円の収入(前年同期は357,928千円の収入)となりました。これは主に、税引前当期純利益182,232千円、減価償却費122,821千円、棚卸資産の減少による収入220,933千円、契約負債の増加による収入138,802千円、法人税等の支払による支出177,393千円、売上債権の増加による支出122,141千円等の計上によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動の結果、534,154千円の支出(前年同期は254,034千円の支出)となりました。これは主に、新システム等に係る無形固定資産の取得による支出364,037千円、新規出店及び既存店舗のリニューアル等に係る有形固定資産の取得による支出157,820千円、新規出店等に係る敷金及び保証金の差入による支出22,227千円等の計上によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動の結果、158,030千円の収入(前年同期は117,515千円の支出)となりました。これは主に、長期借入による収入300,000千円、長期借入金の返済による支出52,925千円、配当金の支払による支出56,547千円等の計上によるものであります。

#### (4) 今後の見通し

2027年1月期においては期首に基幹システムの更新を行い、全社的な効率化及び精度向上を図ります。また主な全社施策は以下の3点となります。①展示金額の拡大による顧客タッチポイントの濃密化を図り、ファブリック・雑貨等の構成比率を高めて売上と認知の拡大をする、②外部コンサル連携による、デジタルマーケティングの機能強化、③全社的なAI導入へのアプローチの開始を掲げています。

以上を踏まえ、業績予想につきましては、売上高12,752,333千円（前年同期比4.9%増）、営業利益246,867千円（前年同期比4.7%増）、経常利益257,069千円（前年同期比1.6%増）、当期純利益172,236千円（前年同期比38.0%増）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、財務情報の期間比較や他社との比較可能性を考慮するとともに、海外からの資金調達が必要が乏しいことを勘案し、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢の変化により、その必要性が高まった際には適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年1月31日)	当事業年度 (2026年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,103,656	1,358,685
売掛金	545,127	667,344
商品	1,678,002	1,545,703
未着品	123,686	38,772
原材料及び貯蔵品	4,908	3,019
前渡金	45,233	4,708
前払費用	107,322	101,599
その他	17,823	23,276
流動資産合計	3,625,761	3,743,110
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	381,913	409,899
車両運搬具(純額)	400	0
工具、器具及び備品(純額)	28,958	20,395
土地	814	814
建設仮勘定	5,588	-
有形固定資産合計	417,674	431,109
無形固定資産		
ソフトウェア	100,096	52,487
ソフトウェア仮勘定	114,600	475,060
その他	236	236
無形固定資産合計	214,932	527,783
投資その他の資産		
敷金及び保証金	494,273	447,069
長期前払費用	19,783	23,434
繰延税金資産	263,773	295,318
その他	46,076	49,367
投資その他の資産合計	823,907	815,189
固定資産合計	1,456,514	1,774,082
資産合計	5,082,275	5,517,193

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年1月31日)	当事業年度 (2026年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	361,243	260,452
1年内返済予定の長期借入金	24,996	85,020
未払金	368,733	403,448
未払費用	165,579	238,762
未払法人税等	140,641	48,853
未払消費税等	24,716	38,016
預り金	8,187	32,355
賞与引当金	59,526	81,406
契約負債	661,156	799,959
その他	907	2,628
流動負債合計	1,815,687	1,990,903
固定負債		
長期借入金	29,178	216,229
退職給付引当金	47,284	50,442
資産除去債務	18,243	18,802
固定負債合計	94,706	285,474
負債合計	1,910,394	2,276,377
純資産の部		
株主資本		
資本金	380,485	380,485
資本剰余金		
資本準備金	360,485	360,485
資本剰余金合計	360,485	360,485
利益剰余金		
利益準備金	160	160
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,462,552	2,530,888
利益剰余金合計	2,462,712	2,531,048
自己株式	△31,800	△31,202
株主資本合計	3,171,881	3,240,816
純資産合計	3,171,881	3,240,816
負債純資産合計	5,082,275	5,517,193

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)	当事業年度 (自 2025年2月1日 至 2026年1月31日)
売上高	12,637,840	12,159,248
売上原価		
商品期首棚卸高	1,496,433	1,678,002
当期商品仕入高	6,527,770	5,828,041
合計	8,024,203	7,506,044
商品期末棚卸高	1,678,002	1,545,703
商品売上原価	6,346,201	5,960,340
売上総利益	6,291,638	6,198,908
販売費及び一般管理費	5,965,988	5,963,184
営業利益	325,650	235,723
営業外収益		
受取利息	122	1,396
為替差益	-	4,318
運送事故受取保険金	5,559	10,088
助成金収入	163	42
その他	2,336	6,034
営業外収益合計	8,181	21,880
営業外費用		
支払利息	765	1,992
為替差損	8,018	-
その他	1,706	2,506
営業外費用合計	10,490	4,498
経常利益	323,341	253,104
特別損失		
固定資産除却損	29,970	21,288
減損損失	11,904	49,583
特別損失合計	41,875	70,871
税引前当期純利益	281,466	182,232
法人税、住民税及び事業税	127,931	88,947
法人税等調整額	△33,822	△31,544
法人税等合計	94,108	57,402
当期純利益	187,357	124,830

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)

(単位:千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	380,485	360,485	360,485	160	2,331,721	2,331,881	△29,595	3,043,255	3,043,255
当期変動額									
自己株式の取得							△35,892	△35,892	△35,892
自己株式の処分							33,687	33,687	33,687
剰余金の配当					△56,526	△56,526		△56,526	△56,526
当期純利益					187,357	187,357		187,357	187,357
当期変動額合計	-	-	-	-	130,831	130,831	△2,205	128,626	128,626
当期末残高	380,485	360,485	360,485	160	2,462,552	2,462,712	△31,800	3,171,881	3,171,881

当事業年度(自 2025年2月1日 至 2026年1月31日)

(単位:千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	380,485	360,485	360,485	160	2,462,552	2,462,712	△31,800	3,171,881	3,171,881
当期変動額									
自己株式の取得							△32,497	△32,497	△32,497
自己株式の処分							33,095	33,095	33,095
剰余金の配当					△56,494	△56,494		△56,494	△56,494
当期純利益					124,830	124,830		124,830	124,830
当期変動額合計	-	-	-	-	68,336	68,336	598	68,934	68,934
当期末残高	380,485	360,485	360,485	160	2,530,888	2,531,048	△31,202	3,240,816	3,240,816

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)	当事業年度 (自 2025年2月1日 至 2026年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	281,466	182,232
減価償却費	130,825	122,821
減損損失	11,904	49,583
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,413	21,879
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,203	3,157
受取利息	△122	△1,396
支払利息	765	1,992
固定資産除却損	29,970	21,288
受取保険金	△5,559	△10,088
助成金収入	△163	△42
売上債権の増減額(△は増加)	311,525	△122,141
棚卸資産の増減額(△は増加)	△112,311	220,933
仕入債務の増減額(△は減少)	△81,339	△99,646
前渡金の増減額(△は増加)	△30,847	40,525
未払金の増減額(△は減少)	28,930	36,594
未払消費税等の増減額(△は減少)	△38,858	17,388
契約負債の増減額(△は減少)	△266,696	138,802
その他	79,667	175,458
小計	335,948	799,342
利息及び配当金の受取額	105	1,183
利息の支払額	△780	△2,109
保険金の受取額	5,559	10,088
助成金の受取額	163	42
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	16,932	△177,393
営業活動によるキャッシュ・フロー	357,928	631,152
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△87,463	△157,820
無形固定資産の取得による支出	△151,555	△364,037
敷金及び保証金の差入による支出	△14,589	△22,227
敷金及び保証金の回収による収入	-	9,931
その他	△427	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△254,034	△534,154
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	-	300,000
長期借入金の返済による支出	△24,996	△52,925
自己株式の取得による支出	△35,892	△32,497
配当金の支払額	△56,627	△56,547
財務活動によるキャッシュ・フロー	△117,515	158,030
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13,622	255,028
現金及び現金同等物の期首残高	1,117,279	1,103,656
現金及び現金同等物の期末残高	1,103,656	1,358,685

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はございません。

(損益計算書関係)

## ※1 たな卸資産の帳簿価額の切下げ

期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下げ後の金額であり、次のたな卸資産評価損が売上原価に含まれております。

当事業年度 (自 2025年2月1日 至 2026年1月31日)	
商品評価損	△27,934千円

## ※2 減損損失

当事業年度(自 2025年2月1日 至 2026年1月31日)

場所	用途	種類
埼玉県越谷市	unico事業用店舗	建物及び構築物、工具、器具及び備品
岡山県岡山市	unico事業用店舗	建物及び構築物、工具、器具及び備品

当社は、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗又は事業所を基準としてグルーピングを行っており、遊休資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

unico事業用店舗に関しましては、収益性の低下により投資の回収が見込めなくなったことに伴い、対象店舗につき、帳簿価額を回収可能価額まで減額し当該減少額を減損損失49,583千円として特別損失に計上しております。その内訳は、建物及び構築物48,347千円、工具、器具及び備品1,235千円であります。なお、回収可能価額は使用価値により測定しておりますが、回収可能性が認められないため、ゼロとして評価しております。

(収益認識関係)

当社は、「unico事業」の単一セグメントであり、セグメントごとの記載を省略しております。顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	当事業年度 (自 2025年2月1日 至 2026年1月31日)
売上高	
店舗	9,852,118
E C	2,307,129
顧客との契約から生じる収益	12,159,248
その他の収益	—
外部顧客への売上高	12,159,248

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前事業年度(自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)

「当事業年度(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

当事業年度(自 2025年2月1日 至 2026年1月31日)

当社は「unico事業」の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社は、従来「unico事業」と「food事業」の2区分としておりましたが、第1四半期会計期間から「unico事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、「food事業」を前事業年度に撤退したことによるものであります。

この変更により、前事業年度及び当事業年度におけるセグメント情報の記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はございません。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)	当事業年度 (自 2025年2月1日 至 2026年1月31日)
1株当たり純資産額	449.16円	458.94円
1株当たり当期純利益金額	26.50円	17.65円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)	当事業年度 (自 2025年2月1日 至 2026年1月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	187,357	124,830
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	187,357	124,830
期中平均株式数(株)	7,068,589	7,072,113

## (重要な後発事象)

該当事項はございません。